

専業農家は引き続き微増

— 過半数の農家は1ha未満 —

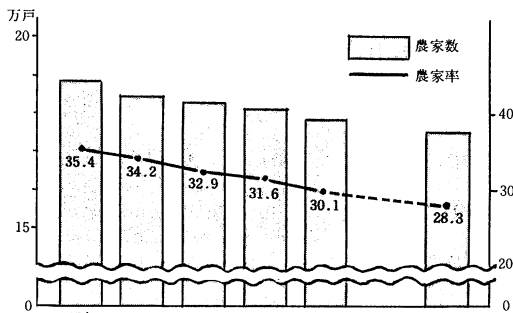
調査結果の概要

1 総農家数

(1) 総農家数

昭和53年2月1日現在の本県の農業事業体総数は17万5,439である。このうち、農家数は17万5,300戸で前回51年調査

図-1 農家数と農家率の推移



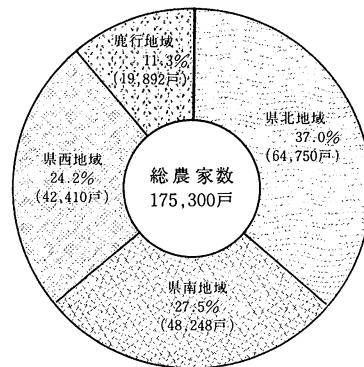
注) 1. 農家率=農家数÷総世帯数(各年の2月1日現在の常住人口調査による)
2. 52年は、本調査が中止になりました。

(17万8,760戸)に比べ3,460戸(1.9%)の減少となった。

農家数は、図-1で示すように年々減少の傾向を示しているが、反面、総世帯数が増加しているため、農家率において28.3%と今まで最も低い割合となった。

また、地域別にみた農家数は東北地域6万4,750戸(37.0%)、県南地域4万8,248戸(27.5%)、県西地域4万2,410戸(24.2%)、鹿行地域1万9,892戸(11.3%)となり、前回との比較でも各地域とも農家数が減少した。

図-2 地域別農家数



(2) 経営耕地規模別農家数

農家数を経営規模別にみると、前回(51年)と同様に100~150アール未満層が21.9%(前回22.4%)と最も多く、次いで70~100アール未満層が15.5%(前回15.8%),150~

200アール未満層が14.0%(前回14.3%)となりこの3層で51.4%を占めている。

また、表-1でみるように構成には数年大きな変化はみられない。

表-1 経営耕地規模別農家数

(単位:戸)

区分	総数	10アール未満	10~30アール未満	30~50アール未満	50~70アール未満	70~100アール未満	100~150アール未満	150~200アール未満	200~300アール未満	300アール以上	
昭和48年	184,786	228	22,396	23,359	21,097	29,200	43,311	27,950	15,337	1,908	
49	182,509	376	22,026	23,301	21,355	29,297	41,859	27,037	15,214	2,044	
50	181,074	227	23,642	23,583	21,283	28,322	40,391	25,912	15,437	2,277	
51	178,760	269	22,487	23,042	21,283	28,201	40,012	25,582	15,586	2,298	
53	175,300	214	22,316	23,111	20,660	27,160	38,533	24,461	16,067	2,778	
構成比(%)	昭和48年	100.0	0.1	12.1	12.7	11.4	15.8	23.5	15.1	8.3	1.0
	49	100.0	0.2	12.1	12.8	11.7	16.1	22.9	14.8	8.3	1.1
	50	100.0	0.1	13.1	13.0	11.8	15.6	22.3	14.3	8.5	1.3
	51	100.0	0.1	12.6	12.9	11.9	15.8	22.4	14.3	8.7	1.3
	53	100.0	0.1	12.7	13.2	11.8	15.5	21.9	14.0	9.2	1.6

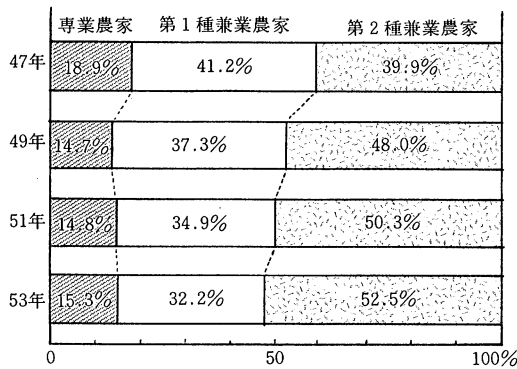
昭和53年農業基本調査結果

(3) 専業兼業別農家数

農家数を専業兼業別にみると、専業農家は2万6,775戸(15.3%)、農業を主とする第1種兼業農家は5万6,476戸(32.2%)、農業を従とする第2種兼業農家は9万2,049戸(52.5%)となった。

専業農家が総農家に占める割合は、前回(51年)に引き続いて上昇し1.1%(304戸)の増加となった。

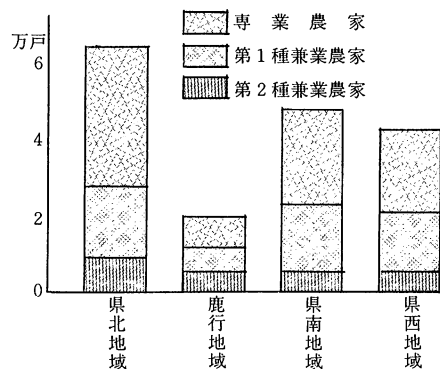
図-3 専業、兼業別農家構成比の推移



地域別にみると、専業農家の割合は鹿行地域の25.8%が最も高く、次いで県北地域の14.9%、県西地域の13.8%、県南地域の12.7%となっている。

また、兼業農家のうち第2種兼業農家について地域別にみると、県北地域の58.0%が最も高くなり、次いで県西地域の51.0%、県南地域の50.2%、鹿行地域の43.7%となっている。

図-4 専業兼業別地域別農家構成比



(4) 兼業農家

ア 主な兼業種類別農家数

兼業農家14万8,525戸について、家としての主な兼業種類別農家数の構成をみると、雇われ兼業農家は12万5,620戸(84.5%)、自営兼業農家は2万2,905戸(15.5%)となり、前回(51年)と同様に雇われ兼業が大部分を占め

ている。

次に兼業農家の主な種類をみると、「工具・店員・運転手など」が38.4%と最も多く、次いで「季節出稼ぎ・人夫・日雇いなど」の23.9%、「事務・技術・教職員など」の22.2%となっている。

また、兼業農家のうち、第1種兼業農家では、雇われ

表-2 家としての主な兼業種類別農家数

(単位:戸)

区分	総数	やとわれ兼業				自営兼業				
		合計	事務・技術・教職員など	工具・店員・運転手など	季節出稼ぎ・人夫・日雇いなど	合計	林業	漁業	その他	
合計	148,525	125,620	33,036	57,073	35,511	22,905	715	1,019	21,171	
第1種兼業	56,476	51,753	11,913	18,886	20,954	4,723	402	350	3,971	
第2種兼業	92,049	73,867	21,123	38,187	14,557	18,182	313	669	17,200	
構成比(%)	合計	100.0	84.5	22.2	38.4	23.9	15.5	0.5	0.7	14.3
	第1種兼業	100.0	91.7	21.1	33.4	37.2	8.3	0.7	0.6	7.0
	第2種兼業	100.0	80.3	22.9	41.4	15.8	19.7	0.3	0.7	18.7

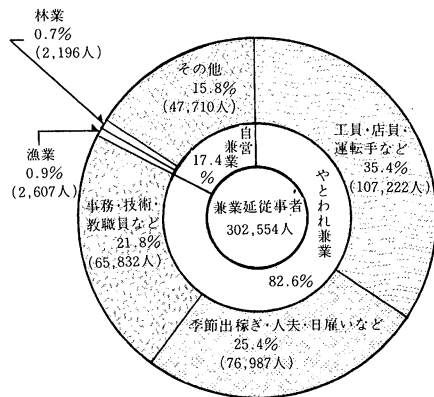
調査から

日雇いなど」が37.2%を占めている。第2種兼業農家については、雇われ兼業は80.3%、自営兼業が19.7%となっている。種類別にみると、「工具・店員・運転手など」が41.6%、次いで「事務・技術・教職員など」の22.9%、「季節出稼ぎ・人夫・日雇いなど」の15.8%となり、第1種兼業農家と比べ「季節出稼ぎ・人夫・日雇いなど」の割合が低くなっている。

イ 兼業種類別延従事者数

兼業延従事者数は30万2,554人で、その内訳は雇われ兼業が25万0,041人(82.6%)、自営兼業が5万2,513人(17.4%)となっている。従事者を兼業種類別にみると、「工具・店員・運転手など」が35.4%、「季節出稼ぎ・人夫・日雇いなど」が25.4%、「事務・技術・教職員など」が21.8%となっている。

図一五 兼業種類別延従事者の構成



2 農家人口

農家人口は85万2,204人で前回(51年)に比べ2万2,075人の減少となり、その減少率は2.5%である。

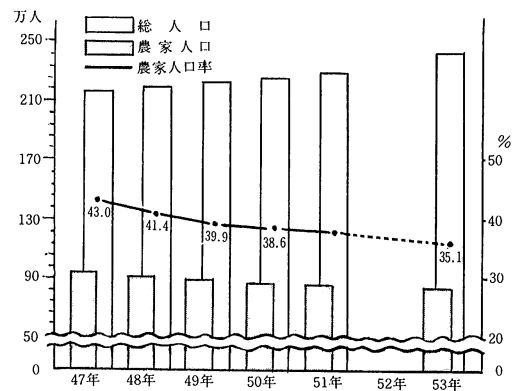
男女別にみると、男が41万8,591人(49.1%)で、女が43万3,613人(50.9%)と女子が1万5,022人多くなっている。

県内総人口に対する農家人口の割合は35.1%で今まで最も低いものとなった。また農家1世帯当たりの平均人員は

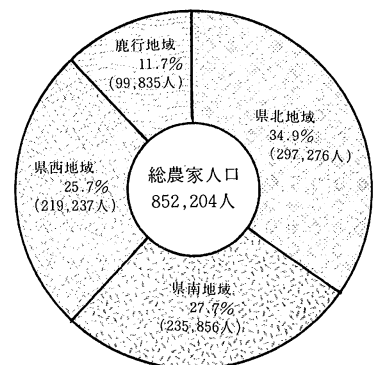
4.9人(総人口に対する総世帯の割合は3.9人)で前回と同様であった。

次に総農家人口に対する地域別農家人口の割合をみると、県北地域が34.9%、県南地域が27.7%、県西地域が25.7%、鹿行地域が11.7%となっている。

図一六 農家人口の推移



図一七 地域別農家人口の割合



3 農家世帯員の就業人口

満16歳以上の農家世帯員68万2,514人のふだんの主な就業状態をみると、「自家農業だけに従事した人」は21万0,111人(30.8%)で最も多く、次いで「通学・その他」の17万2,275人(25.2%)、「兼業が主」の15万3,412人(22.5%)、「兼業だけ」の9万7,035人(14.2%)、「農業が主」の4万9,681人

(7.3%)の順となっている。

これを前回(51年)と比較すると「自家農業だけに従事した人」が7,544人、「農業が主」が7,131人、「兼業だけ」が2,315人、「通学・その他」が1,563人それぞれ減少し、「兼業が主に従事した人」が7,468人増加した。またこれを男女別にみても、同様の増減を示している。

男女別に就業状態の構成比をみると、男子では「兼業が

主」が31.8%と最も高い比率を示し、次いで「自家農業だけ」が24.1%、「通学・その他」が18.2%、「兼業だけ」が16.4%、「農業が主」が9.5%の順となっている。女子では「自家農業だけ」が37.2%と高い比率を示し、次いで「通学・その他」が31.9%、「兼業が主」が13.6%、「兼業だけ」が12.2%、「農業が主」が5.1%となっている。

表一 3 満16歳以上の就業状態別世帯員

(単位:人)

区 分	総 数	自家農業だけに従事した人	自家農業と兼業に従事した人		兼業だけに従事した人	通学・その他	
			農 業 が 主	兼 業 が 主			
合 計	51 年	693,599	217,655	56,812	145,944	99,350	173,838
	53	682,514	210,111	49,681	153,412	97,035	172,275
	増 減	△11,085	△ 7,544	△ 7,131	7,468	△ 2,315	△ 1,563
男	51 年	336,217	81,074	36,113	100,443	56,567	62,020
	53	332,523	80,058	31,727	105,833	54,392	60,513
	増 減	△ 3,694	△ 1,016	△ 4,386	5,390	△ 2,175	△ 1,507
女	51 年	357,382	136,581	20,699	45,501	42,783	111,818
	53	349,991	130,053	17,954	47,579	42,643	111,762
	増 減	△ 7,391	△ 6,528	△ 2,745	2,078	△ 140	△56

△は減

次に、満16歳以上の農家世帯員のふだんの主な就業状態を年齢別にみると、「自家農業だけに従事した人」では50～59歳層の6万1,365人(29.1%)が最も多く、次いで60歳以上層が5万6,561人(26.9%)、40～49歳層が4万8,681人(23.2%)となりこの3層で79.2%を占めている。

これを男女別にみると、男の場合は60歳以上層が2万8,187人(35.2%)で最も多く、また、女の場合は50～59歳層が4万0,895人(31.4%)で最も多くなっている。

兼業者のうち「農業が主」の人では、40～49歳層の1万9,043人(38.4%)で最も多く、次いで50～59歳層の1万4,029人(28.2%)となっている。男女別では、男が40～49歳層で1万1,249人(35.5%)で最も多く、女も同じ40～49歳層で7,794人(43.4%)と多くなっている。

また、「兼業が主」の人では、40～49歳層が4万4,130人(28.7%)と最も多く、次いで50～59歳層の3万1,889人

(20.8%)、30～39歳層の3万1,887人(20.8%)となっている。男女別についてもほぼ同様の結果となっている。

「兼業だけに従事した人」では、16～24歳層の4万2,208人(43.5%)が最も多く、次いで25～29歳層が2万3,673人(24.4%)となった。ここでは表でみるとおり年齢が上がるにつれて従事者は少なくなっている。男女別にみると、男の場合は16～24歳層で35.3%、25～29歳層で26.1%となりこの2層で61.4%を占め、また、女の場合でもこの2層で76.3%を占めている。とくに16～24歳層においては54.0%を示している。

「通学・その他」では60歳以上層が8万8,761人(51.5%)、16～24歳層が5万8,030人(33.7%)となりこの2層で85.2%を示め無職者層と通学者層がはっきり区別される。これは、男女別にみても同様のことがいえる。

■ 調査から

表－４ 満16歳以上の年齢別世帯員の就業状態

(単位：人)

区 分			年 齢 区 分												
			16～24歳		25～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		
総 数	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
自家農業 だけに従 事した人	合計	210,111	100.0	6,207	3.0	12,113	5.8	25,184	12.0	48,681	23.2	61,365	29.1	56,561	26.9
	男	80,058	100.0	3,366	4.2	4,495	5.6	7,755	9.7	15,785	19.7	20,470	25.6	28,187	35.2
	女	130,053	100.0	2,841	2.2	7,618	5.9	17,429	13.4	32,896	25.3	40,895	31.4	28,374	21.8
自家兼業 農業と 兼業が主 に従事した人	合計	49,681	100.0	1,255	2.5	2,804	5.6	8,492	17.1	19,043	38.4	14,029	28.2	4,058	8.2
	男	31,727	100.0	1,057	3.3	2,054	6.5	5,068	16.0	11,249	35.5	9,147	28.8	3,152	9.9
	女	17,954	100.0	198	1.1	750	4.2	3,424	19.1	7,794	43.4	4,882	27.2	906	5.0
	合計	153,412	100.0	14,684	9.6	20,108	13.1	31,887	20.8	44,130	28.7	31,889	20.8	10,714	7.0
	男	105,833	100.0	10,778	10.2	15,292	14.4	22,034	20.8	27,868	26.4	21,742	20.5	8,119	7.7
	女	47,579	100.0	3,906	8.2	4,816	10.1	9,853	20.7	16,262	34.2	10,147	21.3	2,595	5.5
兼業だけ に従事し た人	合計	97,035	100.0	42,208	43.5	23,673	24.4	13,903	14.3	6,892	7.1	5,738	5.9	4,621	4.8
	男	54,392	100.0	19,172	35.3	14,179	26.1	9,088	16.7	4,804	8.8	4,082	7.5	3,067	5.6
	女	42,643	100.0	23,036	54.0	9,494	22.3	4,815	11.3	2,088	4.9	1,656	3.9	1,554	3.6
通学・ その他	合計	172,275	100.0	58,030	33.7	7,954	4.6	5,326	3.1	3,136	1.8	9,068	5.3	88,761	51.5
	男	60,513	100.0	27,591	45.6	895	1.5	623	1.0	659	1.1	1,537	2.5	29,208	48.3
	女	111,762	100.0	30,439	27.2	7,059	6.3	4,703	4.2	2,477	2.2	7,531	6.7	59,553	53.4

4 農業就業人口

調査日前1年間に農業に従事した人は44万3,151人で前回(51年)に比べ2,136人(0.5%)減少した。これを男女別にみると、男22万6,263人(51.1%)、女21万6,888人(48.9%)となっている。

従事日数別にみると「1～29日」が9万9,517人(22.5%)、「30～59日」が8万3,987人(19.0%)、「60～149日」が8万2,476人(18.6%)、「150日以上」が17万7,171人(39.9%)となった。

さらにこれを男女別にみると、男は「1～29日」が5万7,257人(25.3%)、「30～59日」が4万4,704人(19.8%)、「60～149日」が3万8,901人(17.2%)、「150日以上」が8万5,401人(37.7%)となり、女は「1～29日」が4万2,260人(19.5%)、「30～59日」が3万9,283人(18.1%)、「60～149日」が4万3,575人(20.1%)、「150日以上」が9万1,770人(42.3%)となっている。なお、60日以上の就業者構成は、女の方が多くなっている。

1戸当たりの農業就業者は、前回と同じく2.5人となり、経営規模が拡大するにつれて増加している。

表－５ 経営規模別農業就業人口 (単位：戸、人)

区 分	農 家 数	農業就業者数	1戸当たり の就業者数
10アール未満	214	437	2.0
10～30 "	22,315	39,455	1.8
30～50 "	23,111	48,338	2.1
50～70 "	20,660	48,111	2.3
70～100 "	27,160	68,593	2.5
100～150 "	38,533	105,652	2.7
150～200 "	24,461	72,468	3.0
200～250 "	11,701	36,691	3.1
250～300 "	4,366	14,164	3.2
300～400 "	2,191	7,276	3.3
400～500 "	409	1,378	3.4
500アール以上	179	588	3.3
合 計	175,300	443,151	2.5

次に、農業就業人口を年齢別にみると40～49歳層が11万3,305人(25.6%)と最も多く、次いで50～59歳層の11万1,320人(25.1%)、60歳以上層の8万7,870人(19.8%)、30～39歳層の6万7,644人(15.3%)、16～29歳層の6万3,012人(14.2%)の順となっている。

これを前回(51年)と比較してみると16～29歳層が1,656人(2.6%)、30～39歳層が2,689人(3.8%)、40～49歳層が

8,426人(6.9%)それぞれ減少したが、50～59歳層6,271人(6.0%),60歳以上層4,364人(5.2%)それぞれ増加した。これは農家数が前回に比べて減少している中で、農業就業人口の高齢化が進んでいることを示している。

また、従事日数別就業者をみると、「1～29日」では16～29歳層の2万8,767人(29.0%)が最も多く、次いで60歳以上層の2万1,287人(21.4%)となっている。「30～59日」では40～49歳層の2万0,636人(24.6%)が最も多く、次いで60歳以上層の1万9,666人(23.4%)となっている。「60～149

日」では50～59歳層の2万2,846人(27.6%)が多く、次いで40～49歳層の2万1,693人(26.3%)となっている。「150日以上」では40～49歳層が5万4,424人(30.7%)と最も多く、次いで50～59歳層の5万3,817人(30.4%)となっている。

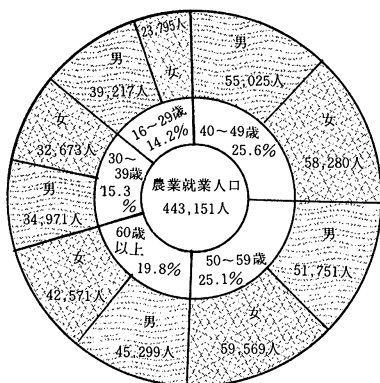
さらに、従事日数別に前回と比較してみると、「1～29日」11.3%、「30～59日」では2.9%とそれぞれ就業者が増加しているが、「60～149日」2.1%、「150日以上」では9.4%とそれぞれ減少している。これは「農用機械」の増加等により、農業従事者の日数が減少していることを示している。

表一六 年齢別農業就業人口(従事日数別)

(単位:人,%)

区分	総数		年齢区分										
			16～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		
総数	443,151	100.0	63,012	14.2	67,644	15.3	113,305	25.6	111,320	25.1	87,870	19.8	
男女計	1～29日	99,517	100.0	28,767	29.0	17,142	17.2	16,552	16.6	15,769	15.8	21,287	21.4
	30～59日	83,987	100.0	11,295	13.4	13,502	16.1	20,636	24.6	18,888	22.5	19,666	23.4
	60～149日	82,476	100.0	6,826	8.3	11,265	13.7	21,693	26.3	22,846	27.6	19,846	24.1
	150日以上	177,171	100.0	16,124	9.1	25,735	14.5	54,424	30.7	53,817	30.4	27,071	15.3
男	小計	226,263	100.0	39,217	17.3	34,971	15.5	55,025	24.3	51,751	22.9	45,299	20.0
	1～29日	57,257	100.0	18,853	32.9	10,709	18.7	9,993	17.5	8,369	14.6	9,333	16.3
	30～59日	44,704	100.0	7,346	16.4	7,727	17.3	11,198	25.0	9,098	20.4	9,335	20.9
	60～149日	38,901	100.0	3,872	10.0	5,268	13.5	9,959	25.6	9,634	24.8	10,168	26.1
女	小計	216,888	100.0	23,795	11.0	32,673	15.1	58,280	26.9	59,569	27.4	42,571	19.6
	1～29日	42,260	100.0	9,914	23.5	6,433	15.2	6,559	15.5	7,400	17.5	11,954	28.3
	30～59日	39,283	100.0	3,949	10.1	5,775	14.7	9,438	24.0	9,790	24.9	10,331	26.3
	60～149日	43,575	100.0	2,954	6.8	5,997	13.8	11,734	26.9	13,212	30.3	9,678	22.2
150日以上	91,770	100.0	6,978	7.6	14,468	15.8	30,549	33.2	29,167	31.8	10,608	11.6	

図一八 年齢別男女別就業人口



図一九 地域別男女別就業人口の割合

